

## 別紙 「平成30年度 学力向上アクションプラン」

足立区立古千谷小学校 学校長 清澤 和人

	新 継	アクションプラン	対象・実施教科	頻度・実施時期	具体的な取り組み内容 <誰が、何を、どのように>	達成確認方法	達成目標 (=数値) <いつまで・何を・どの程度>
1	継 続	朝学習 (パワーアップタイム)	全児童 国語 算数	始業前15分 火・水・金 隔月で算数・国 語を交互実施	【指導者体制】担任 【取り組みのねらい・目的】学習内容の復習・確認を行う。 【使用教材】漢字、計算の「たしかめドリル」 ○付けは担任。当日中に返却。	ミニテスト実施	毎回のミニテストで全員が正答率80%以上の結果を出す。
2	継 続	放課後補習教室	全学年 国語・算数 正答率70%未満	毎週金 放課後40分 (教科は隔週交代)	【指導者体制】 担任+専科サポート4名+学習ボランティア2名 【取り組みのねらい・目的】 つまずきをさかのぼり、演習を中心に個別もしくは少人数指導。進度は各個人で異なるが、復習問題は、期間内に終了するように、1日に進める目安は伝える。 【使用教材】ベーシックドリル、区学力調査問題	確認テスト実施	1月までに実施する定着度確認テストで目標値を通過する対象児童90%
3	継 続	サマースクール	全学年 算数②③ 各学年約10名程度。	夏休み期間中の 10日 各日45分	【指導者体制】 管理職1名+担任+専科サポートメンバー4名 【取り組みのねらい・目的】 担任の少人数指導のもと、進める。過去学年にさかのぼったつまずきをベーシックドリルで確認し、解けなかった問題の解き直しや週の授業内容で理解が完全でない内容の補充問題を行う。 また、テーマごとに学年を越え補習をする時間も設定し、苦手意識の早期解消を狙う。専科はその補助を行う。 【使用教材】プリント教材、	確認テスト実施	夏休み終了後の確認テストで全員の正答率の10%アップ
4	継 続	読書の推進	全学年 全員	通年	【取り組みのねらい・目的】 日常的な読書習慣の定着を目指して行う。 一日20分の読書を100日間行うことをめあてに 家庭読書を進める。	「読書マラソン」カードに記録	100日読書達成 70%

